

建築物名称	ケンコーマヨネーズ株式会社静岡富士山第二工場建設工事
受付日	平成30年1月10日
建物所在地	富士市大淵字城山2261番3
構造規模等	鉄骨造／地上2階／延床面積6510.32平方メートル／増築
建物用途区分	工場
建築主	ケンコーマヨネーズ株式会社 静岡富士山工場 執行役員統括工場長 牧立也
設計者	五洋建設株式会社 小林拓夫
工事完了予定日	平成30年11月30日

# CASBEE®-建築(新築)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ケンコーマヨネーズ株式会社静岡富	階数	地上2F
建設地	静岡県富士市	構造	S造
用途地域	市街化調整区域	平均居住人員	150 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,000 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年2月 予定	評価の実施日	2017年1月5日
敷地面積	37,310 m <sup>2</sup>	作成者	小林 拓夫
建築面積	3,925 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	14,103 m <sup>2</sup>	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.7**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30%☆☆☆☆☆ 60%☆☆☆☆ 80%☆☆☆ 100%☆☆ 100%超☆☆

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比したライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Q のスコア = 2.4

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.4

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.6

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.1

**LR 環境負荷低減性** LR のスコア = 3.2

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.9

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.5

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



□欄に数値またはコメントを記入

1. 建物概要						
建物名称	ケンコーマヨネーズ株式会社静岡富士山第二工場建設工事	BEE	0.7	BEEランク	B-	★★

2. 重点項目への取組み度						
重点項目	得点 <sup>※</sup> /満点	取組み度	評価			
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	3.3	/5				ふつう
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	2.8	/5				がんばろう
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	3.1	/5				ふつう
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	2.1	/5				がんばろう
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)		評価 凡例	よい 4 点以上	ふつう 3 点以上	がんばろう 3 点未満	

3. 重点項目についての環境配慮概要		内訳対応項目					
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。							
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進(Global Warming)		得点	3.3				
■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) ■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) ■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用) ■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) ■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) ⑭排出率86%	Q-1	2	2.1	2.2	2.2	① 外皮性能 ② 昼光利用設備 ③ 昼光制御 ④ 躯体材料の耐用年数 ④ 外壁仕上げ材の補修必要間隔 ④ 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 ④ 空調換気ダクトの更新必要間隔 ④ 空調・給排水配管の更新必要間隔 ④ 主要設備機器の更新必要間隔	
	Q-1	3	3.1	3.1.3	3.2	3.2.1	
	Q-2	2	2.2	2.2.1	2.2.2	2.2.3	④ 2.2.4
	Q-3	1					⑤ 生物環境の保全と創出 ⑥ 敷地内温熱環境の向上
	LR-1	1					⑦ 建物外皮の熱負荷抑制 ⑧ 自然エネルギー利用 ⑨ 設備システムの高効率化 ⑩ モニタリング ⑩ 運用管理体制
LR-2	1	1.1	1.2	1.2.1	1.2.2	⑪ 節水 ⑪ 雨水利用システム導入の有無 ⑪ 雑排水等利用システム導入の有無 ⑫ 材料使用量の削減 ⑫ 既存建築躯体等の継続使用 ⑫ 躯体材料におけるリサイクル材の使用 ⑫ 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 ⑫ 持続可能な森林から産出された木材 ⑫ 部材の再利用可能性向上への取組み ⑬ 有害物質を含まない材料の使用 ⑬ 消火剤 ⑬ 断熱材 ⑬ 冷媒	
LR-3	1					⑭ 地球温暖化への配慮 ⑮ 温熱環境悪化の改善	
2	2.2						
"災害に強いしずおか"の形成(Disaster)		得点	2.8				
■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性)	Q-2	2	2.1	2.1.1	2.1.2	⑯ 耐震性 ⑯ 免震・制振性能 ⑰ 空調・換気設備 ⑰ 給排水・衛生設備 ⑰ 電気設備 ⑰ 機械・配管支持方法 ⑰ 通信・情報設備	
			2.4	2.4.1	2.4.2	2.4.3	
				2.4.4	2.4.5		
	"しずおかユニバーサルデザイン"の推進(Universal Design)		得点	3.1			
	■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり) ㉑階高6.5mを確保 ■室外環境(敷地内)対策 (㉒地域性・アメニティへの配慮)	Q-2	1	1.1	1.1.3	⑱⑲	ユニバーサルデザイン計画 ⑲ 階高のゆとり ⑲ 空間の形状・自由さ
		3	3.1	3.1.1	3.1.2		
Q-3		3	3.1			㉒ 地域性への配慮、快適性の向上	
"緑化及び自然景観"の保全・回復(Nature)		得点	2.1				
■室外環境(敷地内)対策 (⑳生物環境の保全と創出/㉓まちなみ・景観への配慮/㉔敷地内温熱環境の向上) ■敷地外環境対策 (㉕温熱環境悪化の改善)	Q-3	1				⑳ 生物環境の保全と創出 ㉓ まちなみ景観への配慮 ㉔ 敷地内温熱環境の向上	
		2					
		3	3.2			㉕ 温熱環境悪化の改善	
LR-3	2	2.2					